

たんぽぽ

2018. 1. 17



干支カレンダーができました

干支カレンダーが、完成しました。昨年、北里学級に通級した小中学生の作品を集めて、2018年（平成30年）のカレンダーにしました。干支やお正月にちなんだ思い思いの図案を考え、選び、カッターナイフで型を切り抜き、シルクスクリーン方式で印刷しました。さまざまな姿、表情の「ワンちゃん」達。縁起物の獅子舞も加えて、バラエティーに富んだ楽しいカレンダーになりました。今年は戌年。「かわいらしさ」「誠実さ」「堅実さ」が光る1年になるといいですね。



3学期が始まりました

3学期が始まり、北里学級では1月10日（火）に始業式を行いました。双葉小学校から米澤校長先生、麻溝台中学校から徳田校長先生、北里大学病院から橘田医師と渡辺保育士がご列席くださり、子どもたちにお話をしてくださいました。

米澤校長先生 「今年が戌年です。何でもがんばり、あきらめない年です。苦しいこともあるけど、笑顔でがんばってください。双葉小からも応援しています。」

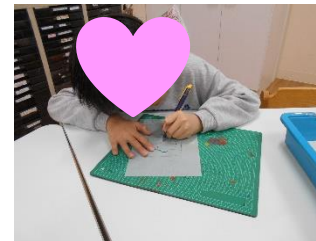
徳田校長先生 「3学期は『い』ってしまう』『こ』げてしまう』『さ』ってしまう』といわれるくらい短い学期です。4月に向かって体を治し、つらいことも乗り越えてがんばってください。」

橘田医師 「北里学級とは何でしょう。勉強するところです。勉強は、大人になってからも自分を育てるために、していかなければなりません。学校では、教えてもらいながらも、どうやって勉強していくかを学びます。これが、大人になってから生きます。北里学級で勉強してください。」

渡辺保育士 「北里学級に来たときには、勉強をがんばりながら、歌ったりものを作ったりして楽しんでください。」

子どもたちは小学生1人、中学生2人が出席し、来賓の言葉に耳を傾けていました。

1月10、11日に北里学級の子ども達3名で、日頃からお世話になっている北里大学病院の各部署（院長室、総務課、看護部、栄養部、感染管理室、リハビリセンター、NICU、PICU、小児病棟、防災センター、ボランティア室）にお届けしました。お礼の言葉や励ましの言葉をいただき、子ども達もうれしそでした。



特別支援学校の先生がきてくれた

入院中のAさんの授業のために、在籍している特別支援学校の先生方が病院まで来てくれています。3週間ほど前から毎週水曜日の15:00過ぎに、担任の先生はじめ、普段Aさんを担当している先生方が、北里学級の教室で授業を実施しています。入院中にもかかわらずこうした取り組みができるのは、多くの方のご理解と在籍校と北里学級の連携が実を結んだ成果だと思います。担任の先生の授業の後のAさんは、満面の笑顔で病棟に戻っていきます。